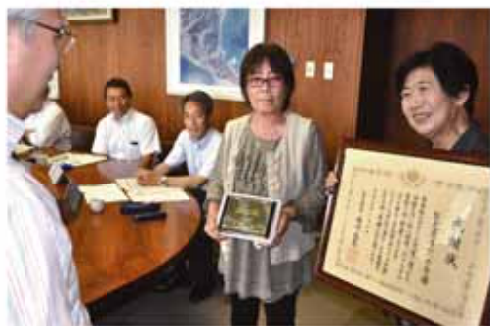


花と人、人と人がつながるまち

牧

原市花の会はこのたび、第23回「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰を受賞しました。



市長に受賞報告する八木会長（右）と太田副会長

もので、全国で87団体が表彰され、県内では同会のみが選ばれました。

同会の八木かよ子会長と太田芳也副会長が6月6日、市役所相良庁舎を訪れ、環境審議会の席上で市長や委員らに喜びの報告を行いました。

八木会長らは、「作業の手伝いをしてくれる地域や、活動を支援してくれる市などのおかげ。今までの活動を誇りに、受賞を励みにしていきたい」と話し、西原市長は、「これからも鮮やかな花壇をつくって、きれいなまちにしてほしい」とたたえました。

同会は今までに、県の「花咲くしずおか」花いっぱいコンクール最優秀賞、全国花のまちコンクール優秀賞など、数々の賞を受賞しています。

会

の活動内容は、道路沿いや公園など地域の花壇における季節ごとの花の植え替えを中心に、イベントでの寄せ植えづくりや花を用いた体験教室の開催などです。最近では吉田町花の会と協力し、榛原総合病院の花壇の手入れを実施。花づくりを通して地域活動により、地域を花いっぱいにして、地元住民や市を訪れる人に花の魅力や花に触れる楽しさを伝えていきます。

使用する花苗のほとんどは、会員が種から丁寧に育てたものです。八木会長は、「自分たちが育苗することは大変手間がかかるが、花が咲いたときの喜びや感動はとて大きい。急変する天候への対応もあり、以前よりも育苗が難しいが、学習しながら皆でやっています。

たい」と話してくれました。

地域の婦人会や花好きな人を中心に行っていた輪が広がって、平成2年に「さがら花の会」、「榛原町花の会」がそれぞれ誕生したことが会発足のきっかけ。後の旧町の合併に伴い、平成18年4月、「牧之原市花の会」が発足しました。

現在は、市内28地区にある花の会に、小学生から80代のお年寄りまで約340人の会員が在籍しています。

会員は活動当初からのメンバーが多く、高齢化しています。1年を通して屋外での作業があるため、若い人や活動意欲のある参加者の加入が課題の一つになっています。

花壇の花が咲き始めると、作業をしている会員は、道行く人から「きれいですね、

何という花ですか」「いつもきれいな花壇をつくってくれてありがとう」などと声を掛けられることがあります。

「道行く人が花壇に関心を持ってくださるのはとてもうれしいこと。見知らぬ人とのふれ合いや、地域の方と話をしている」と花の話題から話が膨らむこともあります。多くの方とコミュニケーションが取れることは、花づくりに携わっている楽しみの一つでもありますね。八木会長は嬉しそうに話してくれました。

同会は、きれいに花を花壇に植えるだけではなく、作業を通して花と人、人と人がつながる活動を目指し、地域の皆さんなどが見て楽しめる花づくりや花壇づくりを心掛けています。

市に潤いを持たせたい

花は季節ごとに、種類や咲く花の色合いが変わり、心を和ませてくれます。

会員の後継者不足や高齢化など課題はありますが、地域の皆さんとともに花と緑のある環境をつくり、牧之原市のまちなみに潤いを持たせることができるよう、これからも皆さんと一緒に活動をしていきたいです。

牧之原市花の会
八木かよ子 会長



1 東名高速道路相良牧之原IC付近の国道473号沿いにある、牧之原花の会が管理する花壇。大きな花壇には、季節ごとと色とりどりの花が咲き、通行人や運転手などを楽しませる。2 市役所相良庁舎の駐車場にある花壇で、花の植え替えをする会員ら。3 さざんかふれあい広場でのフラワーアレンジメント教室

会員募集中!

花の会では、会員を随時募集しています。一緒に楽しく、花づくりを試してみませんか。

- 対象 花が好きな人
- 申込方法 電話で申し込む。
- 問い合わせ 環境課 大石 ☎2609

